

キャンパス点描

大学改革シンポジウム「女性活躍推進のために国立大学ができること」を開催しました

2020年1月23日(木)に本学において、大学改革シンポジウム「女性活躍推進のために国立大学ができること」を開催しました。

今日、持続可能でインクルーシブな社会の実現のため、「知」の拠点である大学の役割がますます高まっています。なかでも、女性研究者の積極的な登用と環境整備が重要視されるなど、女性活躍推進が大きな鍵を握っています。

こうした状況を踏まえ、本シンポジウムでは、女性活躍推進に向けた大学の取り組みを共有するとともに、SDGs達成に向けた女性活躍推進という側面から大学に求められていることについて、基調講演、取組事例の紹介及びパネルディスカッションを行いました。会場には、産業界関係者、高校・大学関係者、学生など約70人の参加がありました。

初めに、森永製菓株式会社の宮井真千子取締役常務執行役員から「SDGs達成のためになぜ女性活躍推進が必要なのか—企業から見た大学の役割—」と題して講演をいただき、参加者はメモを取るなどして熱心に聞き入っていました。次いで、東京農工大学の宮浦千里副学長、東京外国語大学の津友美学長特別補佐、本学森田育男理事・副学長が各大学での取組事例を紹介しました。最後に、本学藤原葉子副学長をモデレーターとしてパネルディスカッションを行いました。その中で、幅広い視野を持つ人材の育成、より社会と密接に連携をとった教育・研究の推進、特に女性へのリーダーシップ教育が必要であるとの意見が交わされました。

今後10年で社会が大きく変わる可能性があるけれども、それはチャンスでもあるとの本学森田理事・副学長の言葉で閉会となりました。



お茶の水女子大学と福井県が相互協力協定を締結しました

お茶の水女子大学と福井県は、2020年2月5日(水)に、女性リーダー育成および女性の幸福の実感に関する事項について相互協力するための新たな協定を締結しました。本学と福井県は2012年1月に初めて相互協力協定を締結し、3回目の締結となりますが、今回の協定では、「女性の生活の質向上に向けた共同研究の実施および政策の提案・実施に関すること」の内容が追加されました。

本学室伏さきみ子学長と杉本達治福井県知事からは、「多様な人々が共に活躍できる社会の推進に向けて、さらに連携を深めていきたい」との挨拶がありました。

締結式後には、終始和やかな雰囲気の中、室伏学長、杉本知事、福井県出身の本学学生等参加者による懇談会が行われました。



2019年度お茶の水女子大学賞授賞式を 開催しました

2月12日(水)、お茶の水女子大学賞各賞(湯浅年子賞、黒田チカ賞、保井コノ賞、小泉郁子賞、辻村みちよ賞)の授賞式を行いました。

湯浅年子賞は、優れた原子核の実験的研究を行い国際的に活躍した女性自然科学者湯浅年子博士を称えて設立された賞で、第7回湯浅年子賞(金賞)は、増澤美佳氏(高エネルギー加速器研究機構加速器研究施設教授)の「素粒子物理学高エネルギー加速器実現のための電磁石システムに関する先導的技術の確立」に贈られました。

黒田チカ賞は、天然色素の構造について長年にわたって優れた研究を行い女性化学者として活躍した黒田チカ博士を称えて自然科学関係の女性研究者に対する顕彰のために化学科の前田候子元教授からのご寄附を基に設立された賞で、第5回黒田チカ賞は、黒木菜保子氏(中央大学理工学研究所専任研究員)の「フラグメント化手法に基づく物理化学シミュレーション法による混合溶媒の物性予測と応用に関する研究」に贈られました。

保井コノ賞は、日本の生物科学の黎明期から革新的な研究を展開するとともに本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て日本初の女性理学博士となった保井コノ博士を称えて設立された賞で、第4回保井コノ賞は、米田敦子氏(東京薬科大学生命科学部ゲノム病態医科学研究室講師)の「イノシトールリン脂質や細胞膜糖タンパク質による細胞内外シグナル制御に関する研究」に贈られました。

小泉郁子賞は、本学卒業後アメリカに留学し『男女共学論』

を著すなどの社会的活動を通じて女性の権利向上を広く訴えとともに日中教育文化交流に尽力し戦後は桜美林学園の創設発展に貢献した小泉郁子博士を称えて設立された賞で、第4回小泉郁子賞は、小ヶ谷千穂氏(フェリス学院大学文学部コミュニケーション学科教授)の「フィリピン移住女性と複数のモビリティに関する社会学研究」に贈られました。

辻村みちよ賞は、本学卒業後数多くの女子学生を育て茶の成分について長年にわたって優れた研究を行い日本初の女性農学博士として活躍した辻村みちよ博士の功績を称えるため設立された賞で、第4回辻村みちよ賞は澤田留美氏(国立医薬品食品衛生研究所再生・細胞医療製品部室長)の「食品研究から再生医療研究への展開」に贈られました。

授賞式では、各賞のゆかりの方、受賞者の関係者の方ご列席のもと、室伏学長から賞状と副賞のメダル・盾が授与され、お祝いの言葉がかけられました。本学は今後もこれまでに築かれた歴史と伝統を基盤として、広い視野と豊かな感性をもって未来を担う女性たちの育成に取り組んで参ります。

